

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字白壁244番地1		
自己評価作成日	令和4年2月14日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年3月11日	外部評価確定日	令和4年4月12日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者本位の介護を第一としており、その人がその人らしくご本人様のペースで楽しく生きがいを持ち、過ごして頂けるように支援を行っています。施設として地域との交流を大事にし、地域の行事に参加したり、消防訓練や夏祭りなど大きな行事の際には近隣の方々をお招きし参加して頂いています。</p> <p>しかし、近年コロナ禍により地域の方と交流を図る事が困難な状況が続いていますが、安全が確認でき次第、地域行事への参加やボランティアの方、ご家族様を施設へお招きし、ご利用者様へ楽しんで頂きたいと思っております。</p> <p>医療面では協力医療機関である仁徳会今村病院と訪問看護ステーションあんしんとの連携により、ご利用者様の健康面や急変時の迅速な対応ができております。さらに、理学療法士との連携によりご利用者様一人一人に合った生活機能の向上に取り組み、安心して生活する事ができるように支援を行っています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>地域の方が安心して過ごしていただけるようにとの代表者の思いから、みやき町内に3か所のグループホームを展開されている。利用者の笑顔を大切にされている施設で、入所時より細かな情報を収集し、施設生活においても「その方らしい生活」をできるように支援されている。毎月の請求書を郵送する際には利用者の写真を同封し、必要に応じて家族に電話連絡を行い、利用者の状況を伝え、信頼関係の構築を図られている。防災面に関しても法人内での協力体制に加え、地域住民の方の応援もある。日頃より地域と繋がり互いに協力できる関係となっている施設である。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に職員全員で理念の唱和を行い、理念を念頭に業務に取り組んでいる。	朝礼時に職員全員で理念の唱和を行い、理念を念頭に業務に取り組んでいる。	毎朝の朝礼で唱和され、事業所内に掲示することで誰もが振り返ることができる。新しい職員が入職された際には、理念についての考え方など研修し、理解を深めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設で行われる夏祭りや消防訓練、運営推進会議の際には地域の方へ案内を行い、参加して頂いている。地域の行事へも積極的に参加し、交流を図っている。	施設で行われる夏祭りや消防訓練、運営推進会議の際には地域の方へ案内を行い、参加して頂いている。地域の行事へも積極的に参加し、交流を図っている。	傾聴ボランティアや近隣の園児など地域資源を活用されている。事業所で催される夏祭りには区長や地域住民の参加もあり、地域との関係性を構築されている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在、書面となる事が多いが運営推進会議の際に、ご家族や地域の方、行政の方と情報交換を行い、認知症の理解や支援に努めている。	現在、書面となる事が多いが運営推進会議の際に、ご家族や地域の方、行政の方と情報交換を行い、認知症の理解や支援に努めている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、施設の事業計画や行事、ご利用者の近況報告を行っている。書面にて資料をお渡しする際はご意見や要望を確認し、頂いた意見や情報を元に職員で話し合い、サービス向上に繋がるように努めている。	運営推進会議では、施設の事業計画や行事、ご利用者の近況報告を行っている。書面にて資料をお渡しする際はご意見や要望を確認し、頂いた意見や情報を元に職員で話し合い、サービス向上に繋がるように努めている。	運営推進会議は地域包括、区長、民生委員、住民で構成され、家族には議事録を配布し、情報を共有されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村や地域包括支援センターの方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。定期的に開催されるネットワーク会議に参加し、事業所の実績やサービスを伝えられるように取り組んでいる。昨年11月事例発表を行い、各職種の方よりご意見を頂き、実際にケアに繋げる事が出来た。	市町村や地域包括支援センターの方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。定期的に開催されるネットワーク会議に参加し、事業所の実績やサービスを伝えられるように取り組んでいる。昨年11月事例発表を行い、各職種の方よりご意見を頂き、実際にケアに繋げる事が出来た。	行政が主催される会議や研修会に参加し、情報交換を行っている。また空き状況などを共有することで入所相談されることがある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、外部の研修や年間スケジュールに沿って施設内で勉強会、身体的拘束適正化委員会を開催し、「どのような行為が身体拘束に該当するのか」事業所全体で理解を深めている。	身体拘束について、外部の研修や年間スケジュールに沿って施設内で勉強会、身体的拘束適正化委員会を開催し、「どのような行為が身体拘束に該当するのか」事業所全体で理解を深めている。	身体拘束における研修は年に2回、委員会は3ヶ月に1回実施されている。家族から身体拘束の希望があっても施設の方針を伝え工夫し、取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について、外部の研修や施設内で勉強会を行い、事業所全体で理解を深めている。新職員入職時には虐待防止について研修を行い、細心の注意を払い虐待防止に努めている。	虐待防止について、外部の研修や施設内で勉強会を行い、事業所全体で理解を深めている。新職員入職時には虐待防止について勉強会を行い、細心の注意を払い虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それらを 活用できるよう支援している	施設内での勉強会を行い、職員 の学ぶ機会を設けている。	施設内での勉強会を行い、職員 の学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	入居の希望があれば事前に施 設見学や十分な説明を行い、ま た契約時には重要事項説明書 をもとに再度説明し、双方が納 得の上で契約を行っている。	入居の希望があれば事前に施 設見学や十分な説明を行い、ま た契約時には重要事項説明書 をもとに再度説明し、双方が納 得の上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	玄関入り口先に要望・苦情ボク スを設置すると共に、来訪者が 見やすい場所に要望・苦情等 の相談結果の掲示を行っている。 また、運営推進会議やサービス 担当者会議の際などにご意見や 要望を伺い、運営に反映でき るよう取り組んでいる。	玄関入り口先に要望・苦情ボク スを設置すると共に、来訪者が 見やすい場所に要望・苦情等 の相談結果の掲示を行っている。 また、運営推進会議やサービス 担当者会議の際などにご意見や 要望を伺い、運営に反映でき るよう取り組んでいる。	意見箱の設置をされるが投函の 実績はない。面会や電話連絡に て直接意見を聞き、対応される。 過去にはアンケートを実施し、運 営に反映させようとした取り組み もあった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンス時や意見 の提案があればその都度、話し 合いを行っている。又、定期的に 職員の面談を行い、その時に 出た、意見や要望を運営に反映 できるように取り組んでいる。	毎月のカンファレンス時や意見 の提案があればその都度、話し 合いを行っている。又、定期的に 職員の面談を行い、その時に 出た、意見や要望を運営に反映 できるように取り組んでいる。	毎月職員全体での会議を実施 し、意見を集約している。また年 に2回の個人面談や日々のコ ミュニケーションで意見を聞くこ とでレクリレーションの充実など を図れたケースもある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内に参加ができるようにし、働きやすい環境を提供できるようにしている。	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内に参加ができるようにし、働きやすい環境を提供できるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な職員面談にて職員個人個人のケアの力量や改善点等を話し合い、本人の課題とその改善を念頭に業務にあたることができるよう努めている。	定期的な職員面談にて職員個人個人のケアの力量や改善点等を話し合い、本人の課題とその改善を念頭に業務にあたることができるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で行われるネットワーク会議に参加し、交流を深め情報交換を行ないサービスの向上に努めている。	地域で行われるネットワーク会議に参加し、交流を深め情報交換を行ないサービスの向上に努めている。		

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員一人一人が担当を持ち、コミュニケーションやご利用者の状態を把握する事で、安心して過ごして頂けるように職員全体で取り組んでいる。	職員一人一人が担当を持ち、コミュニケーションやご利用者の状態を把握する事で、安心して過ごして頂けるように職員全体で取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人やご家族の要望、意見を事前にしっかりと確認を行い、施設として説明を行い、本人や家族の希望に沿ったケアが出来るように努めている。	本人やご家族の要望、意見を事前にしっかりと確認を行い、施設として説明を行い、本人や家族の希望に沿ったケアが出来るように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人やご家族と話し合いを行ない、計画作成担当者を中心に全職員でサービスを開始するにあたって必要な支援について話し合い、適切な支援・サービスを提供出来るように努めている。	入居前に本人やご家族と話し合いを行ない、計画作成担当者を中心に全職員でサービスを開始するにあたって必要な支援について話し合い、適切な支援・サービスを提供出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者と職員一緒に掃除や洗濯ものをたたむ作業など日常生活作業を行ったり、役割を持って過ごす事ができるようにしている。また、出来る事は可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。	ご利用者と職員一緒に掃除や洗濯ものをたたむ作業など日常生活作業を行ったり、役割を持って過ごす事ができるようにしている。また、出来る事は可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	サービス担当者会議の際など定期的にご家族の要望や意見を確認したり、施設での状況を報告し、情報を共有する事で共にご利用者を支えていける関係作りに努めている。	サービス担当者会議の際など定期的にご家族の要望や意見を確認したり、施設での状況を報告し、情報を共有する事で共にご利用者を支えていける関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に本人や家族から得た情報を元に、お気に入りの洋服や家具がある時には持ち込みをして頂いている。また、馴染みがあった地域行事への参加や、かかりつけ医師がいた場合にはご家族にも協力をしていただき通院が行えるようし、これまでの関係が途切れないように支援している。	入居時に本人や家族から得た情報を元に、お気に入りの洋服や家具がある時には持ち込みをして頂いている。また、馴染みがあった地域行事への参加や、かかりつけ医師がいた場合にはご家族にも協力をしていただき通院が行えるようし、これまでの関係が途切れないように支援している。	新型コロナウイルスの感染状況に応じて、面会などを実施している。面会時間は決まっているが、家族の状況に応じて柔軟に対応することが可能である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎朝の体操やレクリエーション、行事などを通してながら、コミュニケーションの機会を増やし交流が図れるようにしている。	毎朝の体操やレクリエーション、行事などを通してながら、コミュニケーションの機会を増やし交流が図れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者一人一人に担当を決め、ご利用者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察、ご家族からの情報収集を行い、出来るだけ本人本位に検討している。	ご利用者一人一人に担当を決め、ご利用者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察、ご家族からの情報収集を行い、出来るだけ本人本位に検討している。	担当の介護職員と介護支援専門員が協力して、面会時や電話連絡する際に意向を確認されている。またサービス担当者会議には家族や本人が参加するケースもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話を傾聴したり、ご家族の方より話を伺うことで、個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるようにしている。	本人の話を傾聴したり、ご家族の方より話を伺うことで、個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各フロア毎に日々の状況を記録に残し、全体朝礼時に特記事項は周知している。又、カンファレンスや職員間での情報交換を行い、現状を把握した上で適したケアに努めている。	各フロア毎に日々の状況を記録に残し、全体朝礼時に特記事項は周知している。又、カンファレンスや職員間での情報交換を行い、現状を把握した上で適したケアに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族の意見や要望を把握・確認し、職員や関係者で話し合いを行い、本人本位の介護計画を作成している。また、定期的にモニタリング評価をし見直しを行っている。	本人、ご家族の意見や要望を把握・確認し、職員や関係者で話し合いを行い、本人本位の介護計画を作成している。また、定期的にモニタリング評価をし見直しを行っている。	モニタリングの際に課題分析シートを活用し、細かく評価を実施されている。ケアプランに即した記録ができるようにタブレットを活用し、アセスメントやモニタリングに活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌等日々の記録を行い、職員間で情報の共有を行っている。また、日々の記録は介護計画に活かしている。	個人記録や業務日誌等日々の記録を行い、職員間で情報の共有を行っている。また、日々の記録は介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し、可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。	関係医療機関と連携し、可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買物や外出レクでは出来るだけみやき町近隣のお店へ出かけたり、施設へのボランティアの受け入れや、ほんげんぎょうなどの地域行事へ参加する等の活動をしている。	買物や外出レクでは出来るだけみやき町近隣のお店へ出かけたり、施設へのボランティアの受け入れや、ほんげんぎょうなどの地域行事へ参加する等の活動をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の 関係を築きながら、適切な医療を受けられる ように支援している	かかりつけ医がある場合は継続 できるよう説明を行っている。本 人やご家族の希望があれば協 力医療機関の訪問診療を利用 し、適切な医療の提供が受け れるように支援している。	かかりつけ医がある場合は継続 できるよう説明を行っている。本 人やご家族の希望があれば協 力医療機関の在宅総合診療を 利用し、適切な医療の提供が 受けれるように支援している。	以前のかかりつけ医の受診も可 能であるが、協力医療機関であ れば月2回以上往診が可能と なっている。また緊急時などは 24時間体制で訪問 看護と連携 を図り、病院と情報共有されて いる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情 報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看 護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適 切な受診や看護を受けられるように支援して いる	ご利用者の状態観察を行い、訪 問看護師と密に情報の共有を 行っている。状態の変化が見ら れた際は訪問看護師と連携を図 り、かかりつけ医や協力医療機 関の受診など適切な対応が出来 るような支援体制をとっている。	ご利用者の状態観察を行い、訪 問看護師と密に情報の共有を 行っている。状態の変化が見ら れた際は訪問看護師と連携を図 り、かかりつけ医や協力医療機 関の受診など適切な対応が出来 るような支援体制をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよ うに、また、できるだけ早期に退院できるよう に、病院関係者との情報交換や相談に努め ている。又は、そうした場合に備えて病院関 係者との関係づくりを行っている。	入退院時の際は情報交換を密 に行うようにしている。入院時は 入院先の担当者と情報交換を行 い、可能な限り早期退院でき るように話し合いを行っている。	入退院時の際は情報交換を密 に行うようにしている。入院時は 入院先の担当者と情報交換を行 い、可能な限り早期退院でき るように話し合いを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、 早い段階から本人・家族等と話し合いを行 い、事業所でできることを十分に説明しな がら方針を共有し、地域の関係者と共にチ ームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について入居 時に本人やご家族の希望を確認 している。入居者の状態変化に 応じて随時意向を確認して、ご 家族・主治医・訪問看護・職員が 連携して本人の望む支援が出来 るよう努めている。	重度化や終末期について入居 時に本人やご家族の希望を確認 している。入居者の状態変化に 応じて随時意向を確認して、ご 家族・主治医・訪問看護・職員が 連携して本人の望む支援が出来 るよう努めている。	入居時から終末期の意向確認 し、ケアプランなど更新する際 に意向を再確認されている。看 取りの実績もあり研修なども実 施されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、急変や事故発生時に実践出来るように努めている。	緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、急変や事故発生時に実践出来るように努めている。	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防避難訓練を実施している。新型コロナウイルスの感染状況により現在、地域の方の参加は控えるようにしている。	年に2回、消防訓練を実施している。新型コロナウイルスの感染状況により現在、地域の方の参加は控えるようにしている。	年に2回の消防訓練の際には地域住民などの参加もある。各種災害については法人との協力体制も整っており、今後もマニュアル化を進めていく意向を確認している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の外部研修や勉強会を行い、特に言葉遣いに注意し、一人一人に合わせた声掛けや対応に配慮している。職員面談時にも同様に接遇マナーについて適切なケアが出来るように話し合いを行っている。	接遇の外部研修や勉強会を行い、特に言葉遣いに注意し、一人一人に合わせた声掛けや対応に配慮している。職員面談時にも同様に接遇マナーについて適切なケアが出来るように話し合いを行っている。	職員が利用者にとって環境の一部であることを意識させ、接遇、言葉遣いに力を入れている。同性介護を希望される場合は、可能な限り柔軟に対応される。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思いや希望を日々の生活の中で確認し、その人に合ったサービスを提供出来るように努めている。	個々の思いや希望を日々の生活の中で確認し、その人に合ったサービスを提供出来るように努めている。	/	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の活動の時間は決まっているが、参加は強制せずに本人の思いを尊重している。	ある程度の活動の時間は決まっているが、参加は強制せずに本人の思いを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。	新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の片付け、お盆・テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつ作りなど企画し、一緒に作って頂くこともある。	食後の片付け、お盆・テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつ作りなど企画し、一緒に作って頂くこともある。	レクリエーションの一環としておやつ作りを月に1度実施されている。食事に関しては外部に委託されているが刻み、ソフト、ミキサーなど柔軟に対応することが可能となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の水分量や食事量の把握を行っている。摂取量が少ない方がいれば、医師に相談し必要に応じて高カロリー食品で補ったり、家族の方協力のもと、本人の好む食べ物や飲み物を提供し、支援している。	一人一人の水分量や食事量の把握を行っている。摂取量が少ない方がいれば、医師に相談し必要に応じて高カロリー食品で補ったり、家族の方協力のもと、本人の好む食べ物や飲み物を提供し、支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後にご利用者に応じた方法で口腔ケアを行ない、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て頂き、口腔内の確認を行っている。	食後にご利用者に応じた方法で口腔ケアを行ない、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て頂き、口腔内の確認を行っている。	/	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を確認し、トイレ案内、見守りを行っている。出来るだけ日中はトイレでの排泄支援を行い、自立に向けた支援を行っている。	排泄の記録を確認し、トイレ案内、見守りを行っている。出来るだけ日中はトイレでの排泄支援を行い、自立に向けた支援を行っている。	オムツで入居された方も、パターンを把握し、トイレ誘導することを基本としている。夜間はポータブルトイレを使用される方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝体操や軽運動を行ない体を動かして頂けるようにしている。また、水分摂取にも注意し便秘の予防に努めている。	毎朝体操や軽運動を行ない体を動かして頂けるようにしている。また、水分摂取にも注意し便秘の予防に努めている。	/	
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴が楽しめるようにしている。	週に2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴が楽しめるようにしている。	曜日を固定し週に2回以上の入浴を実施している。利用者の意向や状態に応じ、柔軟に対応することも可能。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に応じて休息できるように、声かけを行い、安心して睡眠が取れるようにしている。	その時々状況に応じて休息できるように、声かけを行い、安心して睡眠が取れるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の薬剤情報は事務所で管理すると共に変更や注意点があれば記録や申し送りを行い、全職員が把握・理解できる体制を整備している。症状の変化があれば主治医や訪問看護師及び薬剤師に直ちに相談し、安全に服薬支援が行えるようにしている。	ご利用者の薬剤情報は事務所で管理すると共に変更や注意点があれば記録や申し送りを行い、全職員が把握・理解できる体制を整備している。症状の変化があれば主治医や訪問看護師及び薬剤師に直ちに相談し、安全に服薬支援が行えるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割を持ち、お手伝いをして頂いたり、日々のレクリエーションや毎月季節に応じた行事を企画したり、楽しみや気分転換して頂けるように取り組んでいる。	役割を持ち、お手伝いをして頂いたり、日々のレクリエーションや毎月季節に応じた行事を企画したり、楽しみや気分転換して頂けるように取り組んでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は、新型コロナウイルスの影響で外出支援が困難な状況だが、感染状況を確認しながら、入居者の希望を反映し、安全に外出支援が行えるようにしている。	現在は、新型コロナウイルスの影響で外出支援が困難な状況だが、感染状況を確認しながら、入居者の希望を反映し、安全に外出支援が行えるようにしている。	感染予防に努め、散歩や面会などを実施している。コロナ禍以前は、法人からの協力を得て、利用者の意向に即した外出を支援されていた。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	契約上原則的に金銭の持ち込みを禁止しているため、買い物レクなど必要な際は、施設立替金にて、買い物を楽しんで頂いている。本人の強い希望や支援の観点(金銭を持っていないと不安症状が出るなど)により例外的に、家族協力のもと、ごく少額の金銭を自己管理をして頂いている場合があり、外出の際には買い物もされている。	契約上原則的に金銭の持ち込みを禁止しているため、買い物レクなど必要な際は、施設立替金にて、買い物を楽しんで頂いている。本人の強い希望や支援の観点(金銭を持っていないと不安症状が出るなど)により例外的に、家族協力のもと、ごく少額の金銭を自己管理をして頂いている場合があり、外出の際には買い物もされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や、本人が希望されたり状況に応じて電話や手紙の代筆を行っている。	年賀状や、本人が希望されたり状況に応じて電話や手紙の代筆を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた壁紙などフロアや玄関に飾り付けて楽しんで頂いている。玄関のお地藏様には毎日手を合わせご利用者の姿もあり、居心地よく過ごして頂けるようにしている。	季節に応じた壁紙などフロアや玄関に飾り付けて楽しんで頂いている。玄関のお地藏様には毎日手を合わせご利用者の姿もあり、居心地よく過ごして頂けるようにしている。	天井が高く、開放感を感じるリビングには、利用者の方がレクリエーションで作成された作品が掲示されている。各ユニットとトイレが3か所と洗面台、浴室が設置されている。玄関には季節を感じれる飾り付けがされ、コロナ禍で外出できない利用者にも季節感を感じてもらえる工夫がされている。また、リビングから見て死角となる廊下には、ミラーを設置し、安全の確保に努められている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づく 共用空間の中で、独りになれたり、気の合っ た利用者同士で思い思いに過ごせるような 居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファーを設 置したり、和室など落ちついて過 ごせる場所が提供出来るように している。隣のフロアーへの行き 来も自由にしており、入居者同 士の交流が出来るようにしてい る。	共有スペースにはソファーを設 置したり、和室など落ちついて過 ごせる場所が提供出来るように している。隣のフロアーへの行き 来も自由にしており、入居者同 士の交流が出来るようにしてい る。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族 と相談しながら、使い慣れたものや好みのも のを活かして、本人が居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている	居室には入居者の使い慣れた 家具や希望の作品を持ち込んで 頂いたり、壁に写真やレクリエー ションでの作品を飾ったりと居心 地の良い環境作りに努めてい る。	居室には入居者の使い慣れた 家具や希望の作品を持ち込んで 頂いたり、壁に写真やレクリエー ションでの作品を飾ったりと居心 地の良い環境作りに努めてい る。	古い家電など火災に繋がるよ うなものは持ち込むことができな いが、その方の生活に即したも のを自由に持ち込める仕組みに なっている。情報により必要な物 があれば家族に依頼し、その方 の落ち着ける空間づくりをされて いる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わ かること」を活かして、安全かつできるだけ自 立した生活が送れるように工夫している	本人やご家族の同意のもと、各 居室にネームプレートを設置し、 場所が分かるように設置してい る。トイレや浴室もそれぞれ分か るように明記している。	本人やご家族の同意のもと、各 居室にネームプレートを設置し、 場所が分かるように設置してい る。トイレや浴室もそれぞれ分か るように明記している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない